

SNAP RING PLIER

Patent Number: JP57071780
Publication date: 1982-05-04
Inventor(s): KOSUGI JIROU
Applicant(s): MARUTO HASEGAWA KOUSAKUSHIYO K
Requested Patent: ☐ JP57071780
Application Number: JP19800147686 19801022
Priority Number(s): JP19800147686 19801022
IPC Classification: B25B27/20
EC Classification:
Equivalents: JP59043276B

Abstract

Data supplied from the esp@cenet database - I2

⑩ 日本国特許庁 (JP)
⑫ 公開特許公報 (A)

⑪ 特許出願公開
昭57—71780

⑤ Int. Cl.³
B 25 B 27/20

識別記号

庁内整理番号
6551—3C

④ 公開 昭和57年(1982)5月4日

発明の数 1
審査請求 有

(全 3 頁)

⑭ スナツプリングブライヤ

東京都杉並区和田1丁目36番23号

① 特 願 昭55—147686
② 出 願 昭55(1980)10月22日
⑦ 発 明 者 小杉二郎

① 出 願 人 株式会社マルト長谷川工作所
三条市土場16番1号
⑦ 代 理 人 弁理士 吉井昭栄

明 細 書

1 発明の名称 スナツプリングブライヤ

2 特許請求の範囲

2つの握持柄の先端部をスプリングに抗して重合
枢着し、この握持柄の先端部の両側にスナツプリ
ングの係止孔に差し込まれる差し込み突杆を突設
し、この握持柄が開いている時に片側の差し込み
突杆が閉じて軸用となり、反対側の差し込み突杆
が逆に開いて穴用となるようにした事を特徴とす
るスナツプリングブライヤ。

3. 発明の詳細な説明

スナツプリングは軸用と穴用とがあるため、これ
に合わせてスナツプリングを開く軸用スナツプリ
ングブライヤとスナツプリングを閉じる穴用スナ
ツプリングブライヤとが用意されている。

従つて2つのスナツプリングブライヤを用意しな
くてはならず不経済であつた。

このため、両用出来るスナツプリングブライヤも
過去に開発されて来たが、構造が複雑でコスト高
になつたり、使用しづらく、能率が悪い等の欠点
があつて現在においては、両用出来るスナツプリ
ングブライヤは市販されていないのが現状であつた。

本発明はかかる欠点を一掃した軸用と穴用に両用
出来ると共に使用も簡単で能率的になり、更に低
コストの商品を提供出来るスナツプリングブライ
ヤに関するものにして、その構成を添付図面を参
照に詳述すると次の通りである。

2つの握持柄(1)(1)の先端部(1)(1)'を重合し、この重
合中心部を軸(2)により枢着すると共にこの握持柄
(1)(1)をスプリング(3)に抗して開閉自在に設ける。

この握持柄(1)(1)の先端部(1')(1')の両側にスナップリング(4)の係止孔(5)に差し込まれる差し込み突杆(a)(b)(c)(d)を突設し、この握持柄(1)(1)が開いている時に片側の差し込み突杆(a)(c)が閉じて軸用となるように形成し、反対側の差し込み突杆(b)(d)が逆に開いて穴用となるように形成する。

図面の握持柄(1)(1)にはプラスチック製柄(6)(6)が設けられている。

図面の差し込み突杆(a)(b)(c)(d)の先端部にはスナップリング(4)の係止孔(5)に差し込まれる差し込み部(a')(b')(c')(d')を形成している。

本発明は、上述の様に構成したから第2図に示す様に閉じている側の差し込み突杆(a)(c)の先端部を軸用のスナップリング(4)の係止孔(5)に差し込んで握持柄(1)(1)を開くことによりスナップリング(4)を

押し拡げることになり、本発明品を軸用として使用することが出来る。

この場合、強いスプリング(3)を使用することにより握持柄(1)(1)から軽く手を放すだけで簡単にスナップリング(4)を押し拡げることが出来る。

逆に第3図に示す様に反対側の開いている差し込み突杆(b)(d)の先端部を穴用のスナップリング(4)の係止孔(5)に差し込んで握持柄(1)(1)をスプリング(3)に抗して閉じるとスナップリング(4)を閉じることになり、本発明品を穴用として使用することが出来る。

この様に本発明品1つで軸用スナップリング(4)でも穴用スナップリング(4)でも使用出来るから極めて経済的であると共に構造も簡単であるから商品を低コストで提供出来、また、操作も極めて簡単

であるから作業能率が向上することになる。

尚差し込み突杆(a)(c)の開じ加減、差し込み突杆(b)(d)の開き加減もスナップリング(4)のサイズに応じて握持柄(1)(1)の開閉加減によつて調節出来るからいろいろとサイズの異なるスナップリング(4)にも対応して使用出来る等秀れた特長を有するものである。

4 図面の簡単な説明

第1図は本発明品の正面図、第2図は本発明品を軸用として使用する斜面図、第3図は本発明品を穴用として使用する斜面図である。

(1)(1)・・握持柄、(1')(1')・・先端部、(3)・・スプリング、(4)・・スナップリング、(5)・・係止孔、(a)(b)(c)(d)・・差し込み突杆。

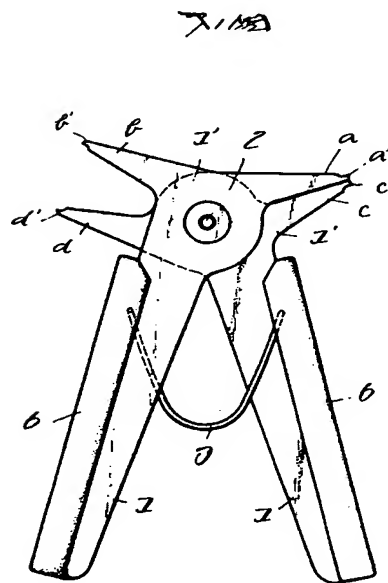


図10

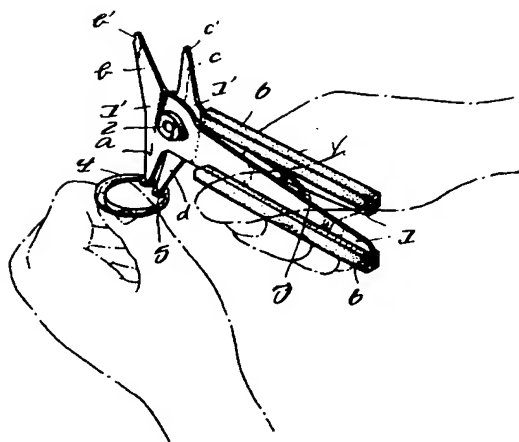


図11

